

作文 提出日はすべて8/18(火)です

原稿用紙(縦書き400字詰め)は各家庭で用意してください。

応募作品名・募集要項		テーマ・内容など
16	森三郎読書感想文コンクール	・森三郎は、昭和初期の児童雑誌「赤い鳥」で新美南吉らとともに活躍した、刈谷市を代表する文化人です。 ・森三郎童話集、森三郎童話賞最優秀受賞作は、図書館ホームページでも読むことができます。
≪対 象≫全学年 ★森三郎童話集「かささぎ物語」「夜長物語」の中の一編を読んで ≪枚数等≫低学年：2枚以内 中学年・高学年：3枚以内 ★森三郎童話賞最優秀受賞作品を読んで ≪枚数等≫3枚以内 ※両方とも1行目：題名 2行目：学校名、学年、氏名 3行目から文を書き始める ○共通事項 応募票を原稿用紙にクリップかステープラーで留めて提出。		
17	青少年読書感想文全国コンクール	・課題図書 低学年：「まこちゃんとコトバロボ」、「なにかいいことあった?」、「ララのまほうのことば」、「たねはいのちのおわりとはじまり」 中学年：「まだまだここから」、「それからぼくはひとりで歩く」、「おいしいお米をつくりたい! : ゆうちゃん、小学生で農家に弟子入りしました」、「宇宙でウンチ：みんなの知らない宇宙トイレのひみつ」 高学年：「ポジション!」、「リヒト!」、「ミシュカ」、「きみの一歩アフリカ：ゾウを食べるにはひと口ずつ」 *課題図書の部と自由図書の部があります。
≪対 象≫全学年 ≪枚数等≫低学年：800字以内 中・高学年：1200字以内 ※枠外に題名・学年を書く ≪その他≫1枚目右上に応募票を添付		
18	みかわの子・刈谷の子	・「自分やまわりの生活を見つめよう」をテーマに書きましょう。 ○低学年：見たこと、聞いたこと、したこと、心に浮かんだことなどを素直にのびのびと書く。先生やお友達、家族に話すように自分のことばで書く。 ○中学年：見たこと、聞いたこと、したこと、感じたこと考えたことなどをありのままに書く。本当に書きたいことを、読む人に分かりやすいように書く。 ○高学年：学校や家庭、地域の生活などをよく見つめ、その中から価値ある題材を見つけて書く。対象を自分の目で捉え直し、感動したことを、読む人の心を打つように書く。
≪対 象≫全学年 ≪枚数等≫★作文について 1年：1200字以内 2～3年：1200～1600字以内 4～6年：1600～2400字以内 ★詩については、字数制限なし ※題名・学校名・学年・氏名は枠外に書く		
19	「家庭の日」作文コンクール	・家庭における親子の交流、家庭のあり方について作文にする。
≪対 象≫4～6年 ≪枚数等≫3枚程度(3枚半を超えない) ≪その他≫1行目：題名 2行目：学校名、学年、氏名 3行目から文を書き始める 応募票を1枚目右上に添付		